

gooddays

Vol. **19**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2020 WINTER ISSUE
PRICE 0 YEN

「
神田錦町界隈で見つけた、
手土産と贈り物
」





神田錦町界限で見つけた、 手土産と贈り物

TEXT・Runa Kitai
 PHOTO・Ryutaro Izaki / Mika Kakuta

家族や友人が集う食事の席や会社の歓送迎会、誰かの晴れやかなお祝いに。日頃の感謝の気持ちを込めて、大切な人へとおきの贈り物を届けたい。贈った人に喜ばれる上に、「センスがいい！」と一目置かれるようなものに出会えたら…。

個性豊かな小売店で賑わうここ神田錦町界限には、ここでしか手に入らない素敵なものがたくさんあります。時代や国境を越えてもなお愛され続けるお菓子やお酒、昔ながらの手仕事を感じることができるメッセージカードや便箋、眺めているだけで元気が出る生き生きとした花々などなど…。ストーリーのあるものに出会える街を歩けば、自然と日頃の「ありがとう」を伝えたい人が頭に浮かんだり、思わぬタイミングで自分へのご褒美に出会えるかもしれません。

今回は、カジュアルシーンにも最適なお菓子屋さんや酒屋さんから、少しフォーマルな場面でも役に立つ、メッセージカードやお花が手に入るお店など、贈る人のシチュエーションに合わせて、8つのお店をピックアップしました。



GOOD DAYS STORY
Vol.
22

Message from
Motoi Izumi



「庄之助」は、昭和初期に大相撲の名行司として活躍した、私の祖父・木村庄之助から名付けられたお店。相撲関係者の家庭ではよくちゃんこを振る舞う飲み屋なんかを開くけど、うちはたまたま甘いものが好きだったから和菓子屋をやろうということになって。そして、祖父が私の父にあたる泉雄介とともに、このお店を始めました。創業は昭和24年。軍配うちわを形どった「庄之助最中」にはじまり、お赤飯の「萬祝(まいわい)」や「ごま大福」など、今では常時10種類以上のお菓子を、昔と変わらない製法でひとつひとつ手作りしています。

昔はお店の2階を住まいにして、父と母と家族三人で40年ほどここ神田の地に暮らしました。この建物ももう築100年弱。震災など大きな災害を幾度も乗り越えてこれたのは、近辺に鎮座するたくさんのお稲荷さんたちが見守ってくれたからかもしれません。また江戸時代初期、店の前の裏通り「多町大通り」はやっちゃ場とよばれる、いわゆる青果市場でした。それも結構栄えていた市場で、当時は徳川幕府も御用達だったとか。でも、この道でその当時の建物が残っているのはもう1軒だけ。街の景色は本当に

いつまでも変わらない人情味溢れる、皆さんの庄之助でありたい

変わりました。

でも、この店に来るお客さんは「庄之助は変わらないね」といいます。変わらないことは、ある種意味があること。そこに価値を見出してくれる人が必ずいる、と私は思うのです。時代が変わっても、うちでは変わらず良いものを。最中のあんこは「大納言」という大粒で味が良い、高級な小豆を創業当時から使っています。大福のお餅も、もちろん米から炊いてちゃんとうちでついた本物を。皆さんに変わらずおいしいものを食べていただけるように、値段もできるだけ昔のまま。それはこのご時世、なかなか容易な事ではないのです。

お客さんのなかには、毎日かかさず来てくださる方、何十年とうちのお菓子を贈り物として買ってくださる方がいます。店内はいつもお客さんの声で賑やかで、なんだか楽しいお店だと皆さん長く通ってくれている。東京では珍しくなってしまった人情味がこの店、ひいてはこの街全体にわずかながら残っていると思うんです。そんな小さな灯火を消してしまわないように、うちは筋の通った仕事をただ地道に続けるだけだと思っています。



泉基 Motoi Izumi
庄之助 代表

銘菓である「庄之助最中」をはじめ、和菓子や生菓子、赤飯などの製造販売を手がける「庄之助」の三代目。現在は神田須田町店、神田駅北口店、深川白河店の3店舗を営む。

日本の洋菓子文化の原点。
素朴で懐かしい、手作りポルトガル菓子



ドース イスピーガ

現地のお菓子屋さんや一般家庭のママさんたち直伝の、手作りポルトガル菓子が堪能できる「ドース イスピーガ」。日本の洋菓子のルーツであるポルトガル菓子は、どこか日本人にとって懐かしい味がします。プリンやエッグタルトなど、定番メニューをはじめ常時12種類ほど揃うお菓子は、素朴でとっても味わい深い。お店には立食ながらイートインスペースも完備。朝7:00からオープンしているのも嬉しいポイントです。

東京都千代田区神田小川町3-2-5
土祝8:00-15:30
日曜、1日、11日、21日、31日定休

400年以上の歴史を誇る
縁起のいい江戸東京の地酒



豊島屋本店

創業1596年の酒屋兼居酒屋が原点にある東京最古の酒舗。現在では東京都東村山市の豊島屋酒造にて、メインイン東京のお酒を製造しています。深さ150mにも及ぶ井戸水から汲み上げた富士山の伏流水を仕込み水として使い、酒造りに好適な上質な米を厳選。代表銘柄「金婚」は、明治神宮と神田明神の御神酒としても納められている、由緒正しきお酒です。ブランドロゴの「カネジュー」は、「安定」と「繁盛」の象徴ともいわれており、贈り物にも最適。

東京都千代田区神田猿樂町1-5-1
10:30-17:00 土日休
www.toshimaya.co.jp

AROUND KANDA NISHIKI-CHO

みんな大好き、おいしい贈り物



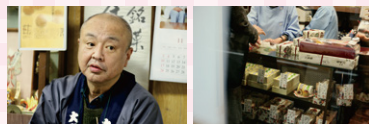
時代も国境も越えて愛される、神田錦町界隈きっての実力派お菓子とお酒を厳選しました。

庄之助 神田須田町店

昭和初期の大相撲名行司、第二十二代木村庄之助のご子息が昭和24年に開いた和菓子屋。名物は創業当時から変わらない軍配うちわを形どった「庄之助最中」。上質な大納言小豆を使用した粒あんはさっぱりと上品で、サクッと薄めの皮は上顎につかない歯触りで優秀。他にも、丹波のダルマササギという稀少な小豆で炊いたお赤飯「萬祝(まいわい)」や、塩気の塩梅が絶妙な人気商品「ごま大福」など、絶品手作り和菓子が勢揃い。

東京都千代田区神田小川町3-2-5
月～金 7:00-18:00、土 8:00-15:00、日定休
03-5577-6575

名物は軍配型の最中！
良質な素材で作る、変わらない味



GLOBAL GIN GALLERY

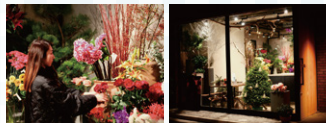
近年世界的ブームにもなっている、ジン。ここには国内外問わず120種類以上ものクラフトジンが並びます。そもそもジンとは大麦やライ麦、ジャガイモなどを原料に、ジュニパーベリーという果実とその土地のポタニカルで香りづけされた蒸留酒。口にすれば生産地の景色が脳裏に浮かぶ、ロマン溢れるお酒です。少量生産のクラフトジンは味からパッケージまでこだわり抜かれた逸品。生産者のエピソードが聞けるのも、このお店ならではの魅力です。

東京都千代田区神田紺屋町27
日～水 13:00-22:00、木～土 13:00-18:00
www.gin-gallery.com

ストーリーのあるお酒を贈ろう。
世界的に珍しいクラフトジン専門店



力強くて美しいおしゃれな花束で、大切な人へ元気を贈ろう



ROOTS

美しく咲く花の力でたくさんの人に元気を送りたいと、7年間営んだ恵比寿の地から仕事に頑張るビジネスマンの多いここ神田へ越してきた期待の新星。力強く生きる花そのものの美しさを生かしたアレンジメントは、ため息がでるほどセンスのいいものばかり。店内には常時100種類以上ものぼる植物が鮮度よく保たれていて、日持ちの良さは常連客にもお墨付き。光合成のできるライトの下で鮮度良く保たれています。切り花は気軽に1本から購入も可能。ふらっと立ち寄るだけで、元気をもらえるお店です。

東京都千代田区神田小川町1-9-9
11:00-19:00 土日定休
<http://roots-flowers.net>

AROUND KANDA NISHIKI-CHO

気持ちを伝える、雑貨とお花



贈り物の定番ともいえる、紙にまつわる雑貨やお花にまつわるお店をピックアップしました。

HANANONE

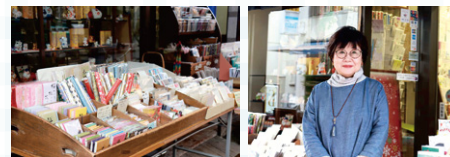
知っている便利な駅近の花屋さん。急なギフトを要するビジネスマンの駆け込み寺的存在です。歓送迎会定番のバラやユリのほか、季節のお花をリーズナブルな価格でご用意。仕上げにあしらうリボンには約30種類の色から選ぶことができます。どんな花束がいかお悩みの方は、まず贈る人のイメージと予算を店長の山口さんに相談してみましょう。お急ぎの場合は、お電話で予約を入れてから訪れるのが吉。すぐに受け取ることが可能です。

東京都千代田区神田神保町2-15 第一富士ビル1F
10:00-18:30 土日定休
03-6380-9206

神保町駅から徒歩1分！
良心的な街のお花屋さん



字を書くだけじゃない。
美しさと温もりがこもる、和紙の可能性



山形屋紙店

現店主で4代目を迎えた、創業140年の和紙専門店。こじんまりとした店内には、全国津々浦々から取り寄せた数百種類にもなる和紙製品が所狭しと並びます。壁紙として使ったり、書や絵に使ったり、様々な用途に使っております。壁紙として使ったり、絵画のようにインテリアとして飾るなど、その用途はさまざま。その他、障子紙や千代紙をはじめ、自社製の便箋や封筒など気軽に使える和紙雑貨に、オーダーメイドで作れる活版印刷の和紙名刺なども贈り物におすすめ。

東京都千代田区神田神保町2-17
10:00-18:00 土日定休
www.yamagataya-kamiten.co.jp

文房堂 神田本店

神保町のメインストリートともいえる、ずずらん通り沿い。「日々の暮らしにアートを」コンセプトに、創業130年を迎える老舗総合画材店。「千代田区景観まちづくり重要物件」としても認定される趣のある店内には、日本一の品揃えを誇る版画材料をはじめ、ペンや付箋、レターカードなど一般的な文房具の品揃えも界隈随一。ここでしか取り扱っていない商品も多く、近隣のオフィスワーカーたちやアート好きの人々に重宝されています。

東京都千代田区神田神保町1-21-1
10:00-19:30
www.bumpodo.co.jp

画材・文房具・セレクト雑貨
日々の暮らしにアートを贈ろう。



テラススクエア
フォトエキシビジョン
2019/11/5(水)~5/11(月)
開館時間 8:00-20:00 休館日 土日祝

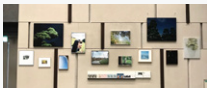
テラススクエアでは、パブリックスペースを活用したフォトエキシビジョンを開催中。写真家がとらえた一瞬、そして街の様子とは。



LandScapes seen by someone.

タイトルは「どこかでみたことのある景色」という意味です。今回の写真はその「どこかでみたことがある」ことを特に意識しながら撮りました。芸術全般にいえることですが、写真にとってオリジナリティとはなんでしょうか？ 写真といえば、スマホで撮った写真も写真。これだけ写真を撮ることが日常的になった今、誰も撮ったことがない、見たこともない写真を撮ることなど可能なのでしょうか。あるいは誰も見たことが

ないものを見ることはできるのだろうか。今回展示する写真はそんな思いで撮りました。浅草で生まれた僕にとって神田錦町は子供の頃から馴染み深い土地。古書店めぐりはもちろん、今は無き行きつけの定食屋さんや映画館の思い出もあります。心の中で今と昔の景色を重ね合わせ、懐かしさも感じる場所。そんな街で写真展示ができること、とても楽しみにしています。



テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

加藤孝司 Takashi Kato

デザインジャーナリストであり、フォトグラファー。デザイン、ライフスタイル、アートなどを横断的に探求、執筆。デザインや写真にまつわる展示のディレクションも手がける。休日は愛猫ジャスパー(ブリティッシュショートヘアの男の子)とともに過ごすことを楽しんでいる。
<http://form-design.jugem.jp>

連載
企画

錦町さんぽ

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・井崎竜太郎

Vol. 18



第 18 回

毎朝焼き上げる皮が自慢の絶品どらやき

ここ「嘉祥庵」さんの名物どら焼きは、当日生産当日売り切り。すべてのお客様に最良を届けようと、並々ならぬ信念をお持ちの和菓子屋さんです。

毎朝店内2階でふんわりと焼き上げる皮と、程よい甘さのしっとり粒粒が絶妙に合わさる「嘉祥どら焼き」は、300回以上もの試作を繰り返して、ようやく辿り着いたものだそう。「味や香り、分量、甘さの加減、食感、くちどけのすべてが“調和すること”に重きを置いて、毎日食べても飽きのこないお菓子を目指しています」と、店長の大浜さん。どら焼きは、常時8種類ほどラインナップ。その中でも私が気に入っているのは、他では見たことがなかったどらやきの「皮だけ」。大好きなお酒で糖分がいつも満たされている私にとってはありがたい商品で、チーズやハムを挟んで朝ごはんを食べたり、バターだけ塗って生地のうまみを堪能しています。



神田錦町 如月

Kanda Nishiki-cho Kisaragi
酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国各地から運び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多賀谷が作り出す、和の味わいをお楽しみください。

東京都神田錦町 2-3-10
TEL: 03-3518-2212
月~土 17:00-22:00 / 日祝 定休
kandanishiki-kisaragi.jp



どら焼き専門店 嘉祥庵

Dorayaki senmonten Kasyouan
神田小川町でどら焼き、および菓子の製造販売を行う当店は、神田や秋葉原界隈で人気のたいやき屋「神田達磨」の同系列店。土日祝日も営業している界隈では貴重な存在。

所在地：東京都千代田区
神田小川町 3-3-10 奥泉ビル
10:00~20:00 (土日祝 19:00 まで)
定休日なし
TEL:03-3518-9876
<https://kasyouan.root-s.com>



神田錦町市場



Event Date:
2020/1/22WED ~ 2020/1/24FRI

1/29 水曜日
① 紅茶屋 ② チョコレート屋
③ 八百屋 ④ 青森からトマト農家

1/30 木曜日
① 紅茶屋 ② チョコレート屋
③ 八百屋 ④ 青森からトマト農家

1/31 金曜日
① 紅茶屋 ② チョコレート屋
③ 八百屋 ④ 青森からトマト農家
⑤ かすみ屋 ⑥ シフォンケーキ屋

開催場所: テラススクエア
千代田区神田錦町3丁目22番地

全国から届く新鮮な野菜を中心に、希少な食材をお届け致します！

都会の真ん中に、全国の「美味しい」と「楽しい」をお届けし、オフィス街にしながら、季節感を感じて頂ける設えにしております。今月は、毎年10月にお越しなる「青森商工会議所」メンバーのうち、大変美味しいトマトを栽培されている「マグワート・トマト」さんが出店されます。フレッシュトマトだけでなく、美味しいトマトを使用した加工品もお楽しみください。

ブックハウスカフェ第2回 桂文我 おやこ寄席

渦巻くような子どもの笑い声の桂文我おやこ寄席

こどもの本専門店・ブックハウスカフェで2回目の上演となります。正月丁稚・松竹梅という爆笑ネタに落語紙芝居の上演、絵本面白コーナー付きの盛り沢山の番組！どうぞ、ご家族・お知り合いをお誘いの上よろしくお越しくださいませ。

日時: 2020年2月23日(日)
13時の部/16時の部(2部制、各回15分前開場)
開催場所: ブックハウスカフェ・ひふみ座
(東京都千代田区神田神保町2-5北沢ビル2F/神保町駅A1出口を右に約30秒)
参加費: 当日 子ども(小学生)2,000円、大人(中学生以上)3,000円
お問い合わせ先: ブックハウスカフェ店頭
/Tel.03-6261-6177 / Eメール(yoyaku@bookhousecafe.jp)にて

Event Date:
2020/2/23SUN



漫画の手帖40周年展

Event Date:
2020/1/9THU ~ 2020/1/23THU



発足40周年記念展示会開催！

1980年刊行した『漫画の手帖』は、現在運営を続ける漫画同人としては古参にあたり、刊行した同人誌は120余冊、関与した漫画家、ライターは300有余に及びます。2020年1月に同人の発足から40年となるにあたり、これを記念して展示会を開催します。

日時: 2020年1月9日(木)~23日(木) 10時~17時(日・祝休館)
開催場所: 東京都古書会館(千代田区神田小川町3-22)
問い合わせ: くだん書房 (boss@kudan.jp/03-3233-2020)

第15回 ちよだ文学賞

Event Date:
2019/10/5SAT ~ 2020/4/30THU

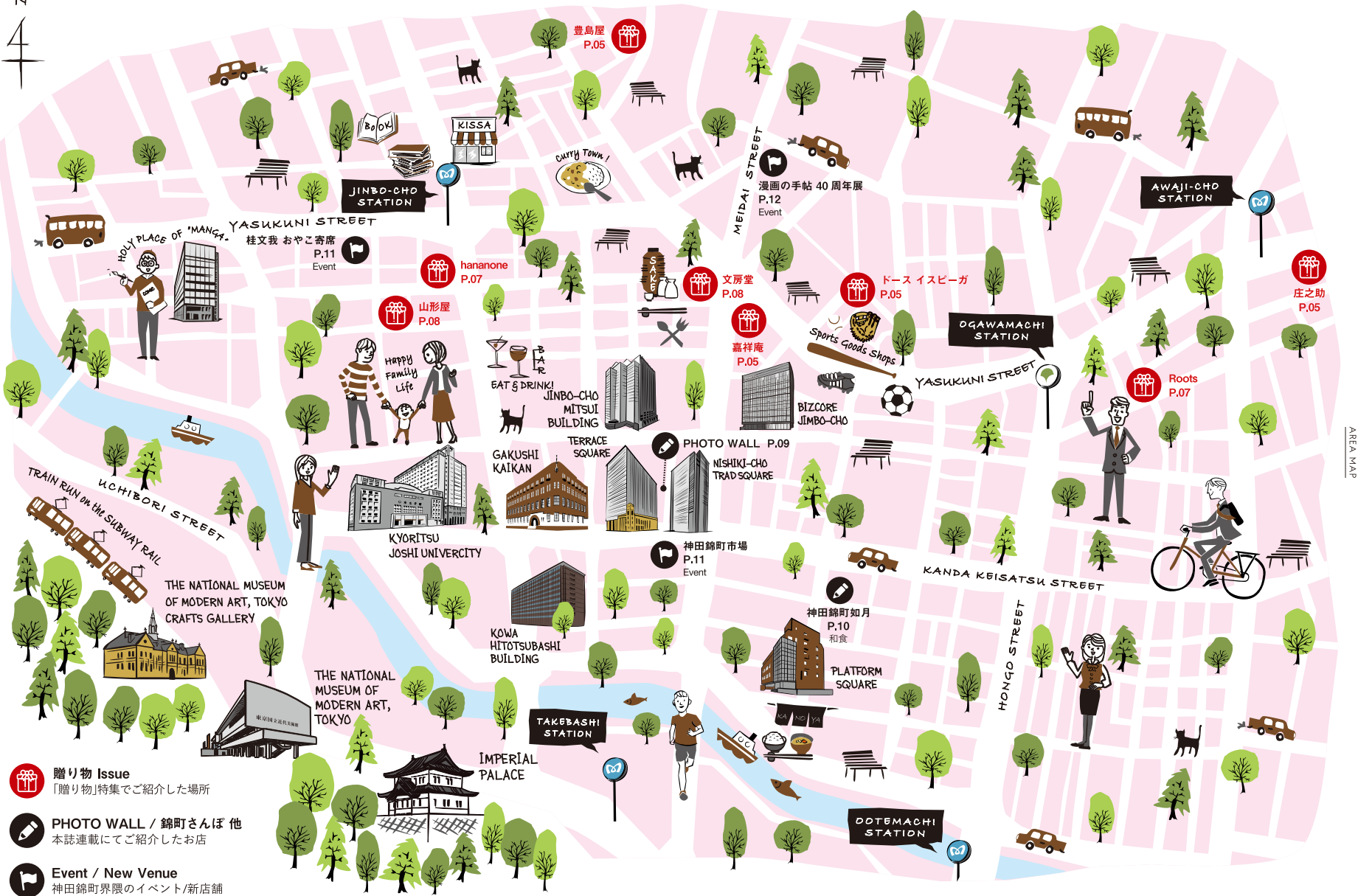
千代田区の持つ文化的・歴史的な魅力をアピール！

日本語で書かれた未発表小説で、テーマ・ジャンルは問いません。千代田区縁の人物や区内の名所・旧跡、歴史などを題材にした作品を歓迎します。(ただし、このことの有無が選考の基準とはなりません。)[大賞]と「千代田賞」を表彰します。(注意) 千代田賞は、区の持つ文化的・歴史的な魅力をアピールする作品から選考します。



締切	令和2年4月30日(木曜日) (当日消印有効)
発表	令和2年10月、入賞者に通知します。
原稿	A4サイズの用紙を横長に使用し、 40字×40行の縦書きで印字し、30枚以内。
賞金	大賞1篇100万円

問い合わせ先: 地域振興部文化振興課文化振興係
〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1
電話番号: 03-5211-3628
ファクス: 03-3264-1466
メールアドレス: bunkashinkou@city.chiyoda.lg.jp



AREA MAP

 贈り物 Issue
「贈り物」特集でご紹介した場所

 PHOTO WALL / 錦町さんぽ 他
本誌連載にてご紹介したお店

 Event / New Venue
神田錦町界隈のイベント/新店舗

